

けんぽく農林ニュース

～「くだもの・きゅうり・花き王国の飛躍と農林業の持続的な発展」～

令和5年4月26日発行 春特別号

県北農林事務所長と各部（農業普及所）長、新規採用職員を紹介します。

福島農林水産部公式
YouTube
「1400のネタばらし」
ぜひ、御覧ください。



家久来克之所長

県北農林事務所 所長挨拶

桜が満開となる中、令和5年度がスタートいたしました。

東日本大震災当時の勤務から、十年の時を経て、昨年4月に着任し、二年目を迎えました。

一年目を振り返りますと、農林業を生業とする方々や、管内8市町村の皆様、そして、関係機関・団体の方々と接する中で、県北地方農林業の振興/活性化に向けた思いや情熱を肌で感じ、活気に満ちあふれているとの印象を強く受けております。

また、昨年は、県内の新規就農者数が334人となり、調査開始以降初めて三百人を超え、県北地方は県内で最も多い96人となっており、そして、十年の年月を費やし開発した福島県オリジナル品種のイチゴ「ゆうやけベリー」が本格デビューを果たし、今年度は当管内でも栽培面積の拡大が見込まれ、さらに、第三者認証「GAP」取得数の増加、森林・林道の着実な整備など、様々な取組が大きな光となって、県北地方を輝かせていると感じております。

一方で、県北地方の農林業を取り巻く環境は、社会全体の高齢化が進む中、ひょう害や凍霜害、大雨・豪雨など頻発する自然災害、新型コロナウイルス感染症の影響、原油価格・物価高騰など、厳しい状況が続いております。

私ども県北農林事務所といたしましては、「くだもの・きゅうり・花き王国の飛躍と農林業の持続的な発展」の実現に向け、多様な担い手の確保・育成、園芸産地の生産力の強化、先端技術の導入、「福、笑い」や「ゆうやけベリー」をはじめとする県オリジナル品種の普及拡大、戦略的な情報発信などの「福島ならではの」取組による農林産物のブランド力強化に、職員一同、現場主義を貫き、“挑戦”を続けてまいりますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

ひとつひとつ、実現するため、ともに歩みを進めましょう!!

次長兼総務部長 新井 里美次長

県北農林事務所次長の新井です。二年目になります。

県北農林事務所に着任して、当所が食に関する幅広い業務を行っていることを改めて認識いたしました。

今年度も健康の礎となる、安全で安心な、そして美味しい農林産物を、県民の皆さんにとどまらず国内外にもお届けできるよう、微力ながら努力して参りますとともに、一個人としても楽しみたいと思います。



企画部長 荻野 憲一部長【新任】



今回の人事異動でお隣の県中農林事務所からまいりました 荻野憲一（おぎのけんいち）と申します。企画部は、農振法・農地法を所管する『農地の番人』という堅い顔と、農村地域の活性化や農林産物のPRなど『イベント屋』という柔らかい顔の両面を持っていますが、「農林業・農山村の発展」と「農家所得の向上」に向け、硬軟織り交ぜた絶妙なバランスで対応してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

農業振興普及部長 横田 真良部長

昨年度は、大規模な降ひょう被害や高病原性鳥インフルエンザの発生、原油価格・物価の高騰など厳しい一年でありましたが、新規就農者数が県内全体で初めて三百人を超え、県北地域が県内で最も多く確保されるなどうれしい話題もありました。

引き続き、新たに設置された県農業経営・就農支援センターと連携した新規就農者の確保・育成をはじめ、園芸産地づくりや需要に応じた米づくりなど“もうかる農業”の実現に向け職員一丸となって取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。



農村整備部長 渡邊 長部長



農村整備部長の渡邊長と申します。どうぞよろしくお願いいたします。この一年間県北地方に勤務し、農村整備に対する期待の大きさをひしひしと感じています。

土地改良施設は老朽化が進み、農業担い手は高齢化、激甚化する自然災害など、農業農村を取り巻く環境は厳しさを増すばかり。農地整備の実施や土地改良施設の改修など、何なりと御相談下さい。～「福、笑う」農業空間を次世代へ継承するために～農村整備部の職員が一丸となって応援します。

森林林業部長 宗方 宏幸部長

令和4年度より部長に就任し、二年目となります。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会議の出席者の制限、森林に親しむためのイベントが規模縮小され、一時期より感染対策が緩和されてきたものの、まだ制約が多い年でした。

令和5年度は現場の声を大切にしながら、県北地方の森林の再生、林業・木材産業や特用林産物の振興、林地災害の未然防止に取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

最近、アップしました「ふくふくしめじのPR動画」も是非、御覧ください。



伊達農業普及所長 渡邊 敏弘所長

伊達市月舘町に家があります。昨年は集落で農地を囲むようにイノシシ対策の防護柵を設置しました。農地を優良農地として保全していただけても大変です。伊達管内には、優良農地・園地が多くあります。今こそ、自らの地域において「地域計画の策定」を検討し、地域として優良農地・園地を継承していく仕組みが必要です。伊達農業普及所は、農業に関する技術のプロ集団です。常に地域の農業者や農業組織等の意向把握に努め、連携して伊達地域の持続的な発展を目指してまいります。



安達農業普及所長 酒井 隆所長【新任】

4月3日に所長に着任いたしました酒井隆です。県北農林での勤務は初めてとなります。よろしくお願い致します。農業・農村を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、当普及所では、当地域が直面する諸課題に対応するため関係機関、団体と密接に携わりながら普及活動を進めます。もとより微力ではありますが「くだもの・きゅうり・花き王国の飛躍と農林業の持続的な発展」のもと、所内ワンチームで安達地域の農業・農村の発展と農家経営の安定化に努めますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



新採用職員紹介



企画部

すずき しょうや

鈴木 翔弥さん



農業振興普及部

みどりかわ けん

緑川 堅さん



農業振興普及部

いき くれは

生亀 薫玲葉さん



農業振興普及部

さいとう れん

齋藤 錬さん